はじめに

令和３年度掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館年報を刊行いたします。

世界的なコロナ禍により、私どもの美術館でも利用者の方が激減しました。令和２年度は休館することを余儀なくされましたが、幸いにして、令和３年度は十分な感染症対策を準備して休館することなく１年間を過ごすことができましたのは幸いでありました。

いついかなる時におきましても常に美術館活動が継続できることを念じております。

さて、翻って、今年度の美術館活動を概観してみることとします。

展覧会関係では、「第 49 回伝統工芸日本金工展」（8 月 7 日～ 10 月 8 日）を開催しました。これは日本工芸会金工部会が主体となって日本全国の金工作家らの作品を公募する展覧会で現在における日本伝統工芸の状況を知りうる貴重な機会となりました。また、掛川市が主催するお茶とアートを融合させた芸術祭「掛川茶エンナーレ 2020 ＋ 1」のタイアップ企画として「MOA 美術館コレクション　歌川広重　保永堂版東海道五十三次展」（10 月 16 日～ 11 月 14 日）を MOA 美術館のご協力により開催できました。浮世絵版画は何よりも保存状況により作品の価値は大きく異なります。刷りの良い版画を堪能いただきました。

掛川市には高天神城、横須賀城、掛川城があり、毎年、地域の歴史遺産を発掘する展覧会を開催してきていますが、今年度は「御用絵師と藩校教授」として画家と学問の原点を探る展覧会を開催しました。

所蔵品の展示は細密工芸、近代日本洋画、近代日本画の展示を開催しました。秋から初冬にかけて開催している「市民アートフェスタ」は多彩な市民の創作活動を紹介するものです。市民芸術祭の公募作品から優秀作品を展示し、スケッチ画の公募作品も併せてロビーに展示しました。また、現代の伝統版画としてすぐれた作品を残している牧野宗則氏の版画作品も併せて展示しました。

教育普及関係の事業では講演会「掛川藩・横須賀藩歴史文化のルーツをたどる」は江戸時代の掛川の文化の諸相を紹介するものでした。定員を超える申し込みがあり、市民の方々の関心の高さを改めて知ることとなりました。また､ステンドグラスの制作に関する体験講座も根強い希望者があり、着実に新しい分野に関心が高まっていることを知ることができました。

美術館を取り囲む環境はコロナ禍だけではなく生活様式の変化や趣味の多様化など大きく変わりつつあります。こうした中、美術館の在り方や求められることも大きく変わってきております。市民の方々の意向をよく見ながら今後の美術館活動を進めてゆきたいと考えますので、今後ともご支援いただけますようよろしくお願い致します。

令和４年８月

掛川市二の丸美術館
掛川市ステンドグラス美術館
館長　日比野　秀男

目　次

① 二の丸美術館 展覧会一覧 …… 1

② 二の丸美術館 展覧会

1　＜木下コレクション＞職人がこだわり抜いた細密工芸の世界 …… 2
2　近・現代絵画の魅力～二人のコレクターが愛した洋画・日本画 …… 5
3　第 49 回伝統工芸日本金工展 …… 11
4　MOA 美術館コレクション 歌川広重 保永堂版 東海道五十三次展 …… 14
5　2021 掛川市民アートフェスタ
　掛川市民芸術祭 優秀作品展 牧野宗則木版画展 …… 20
6　＜木下コレクション＞春の工芸品セレクション
　－近世から近代まで－ …… 23
7　掛川藩・横須賀藩 御用絵師と藩校教授 文化教養の原点 …… 26

③ 教育普及活動

1　スケッチ画公募・作品展 …… 29
2　写生大会 …… 31
3　展覧会関連講座 動画配信 …… 34
4　小中学校美術主任者研修 …… 36

④ ステンドグラス美術館　体験講座 …… 39

⑤ 調査研究

1　館蔵資料保存・整理の状況 …… 41
2　資料貸出 …… 42
3　印刷物作成状況 …… 42

⑥ 管理運営

1　入館者統計 …… 44
2　組織・決算 …… 48
3　美術館協議会 …… 50

掛川市二の丸美術館所蔵品紹介
…… 1

①令和３年度　二の丸美術館　展覧会一覧

No.	展覧会名	会期	開館日数	入館者数（人）		
				有料	無料	計
1	＜木下コレクション＞ **職人がこだわり抜いた細密工芸の世界**	4/6 ～ 6/6	58	1,449	593	2,042
2	**近･現代絵画の魅力** ～二人のコレクターが愛した洋画･日本画～	6/11 ～ 7/25	43	762	450	1,212
3	**第49回伝統工芸日本金工展**	8/7 ～ 10/8	59	974	534	1,508
4	MOA美術館コレクション **歌川広重　保永堂版東海道五十三次展**	10/16 ～ 11/14	29	1,852	524	2,376
5	2021 掛川市民アートフェスタ **掛川市民芸術祭 優秀作品展 牧野宗則木版画展**	11/19 ～ 12/19	29	333	4,104	4,437
6	＜木下コレクション＞ **春の工芸品セレクション－近世から近代まで－**	12/25 ～ 2/13	46	1,248	660	1,908
7	**掛川藩･横須賀藩 御用絵師と藩校教授 文化教養の原点**	2/19 ～ 3/31	38	1,336	485	1,821
令和３年度　計			302	7,954	7,350	15,304

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会１

<木下コレクション>
職人がこだわり抜いた細密工芸の世界

１　概要

本来「工芸品」とはいかなるものか…を問いかける主旨のもと作品展示を行った。

毎回ご覧頂いている工芸品「木下コレクション」であるが、これらは鑑賞するためだけでなく、すべて日常生活に用いることを前提に、かつ実際に使用されていた作品がほとんどである。普段使いの物にこれほどの美意識が注ぎ込まれているという事実を、これらの工芸作品を通してご理解頂いた。

今回は、煙草道具のほかに、あらたに加わった「櫛かんざしコレクション」をご紹介した。これらは近世から近代にかけての櫛・かんざしを主とした女性の装身具コレクション約 100 点あまりである。男性的な煙草道具の世界に女性らしい色香を添える品々で、双方で男女の装身具を一覧頂ける仕様とした。

こちらも煙草入れ同様、実際に用いていたものであるが、工芸品の名に相応しい美しさと繊細さを持ち合わせている装身具である。

双方合わせて約 160 点あまりの細密工芸品に、幕末に制作された「京薩摩焼壺」や大正期に制作された珍しい「煙草箱」も特別展示した。時代の変遷とともに変わる工芸品の形態やデザインも興味深い。長い歴史の中で培われてきたこれらの品々を、「工芸品」と言う視点で見て頂くことで、あらたな価値観を発見して頂く展覧会とした。

（１）会　期　　令和３年４月６日（火）～６月６日（日）
（２）会　場　　掛川市二の丸美術館（第一展示室・第二展示室）
（３）入館料　　高校生以上 200 円、中学生以下 無料
（４）入館状況
①会期中入館者数

総入館者数	2,042 人
有料入館者	1,449 人
無料入館者	593 人
１日平均者数	35.2 人

２　経緯

木下満男氏より、たばこ道具をはじめ、印籠、刀装具、金工品、細密工芸品など約 2,300 点と美術館建設資金の寄付受け、平成 10 年にオープンした二の丸美術館では、寄贈された木下コレクションの中でも選りすぐりの美術工芸品を展示する展覧会を毎年開催している。

本展覧会では、長年受け継がれてきた日本の伝統技法や作品の魅力を伝えるため、様々な視点から鑑賞できるよう新しいアイディアや表現を取り入れている。

３　目的

開館 23 年目を迎え、成熟した美術館として、市民の創造的な文化芸術活動を支えるべく、地道な研究の成果と高度な専門知識に裏付けられた質の高い展覧会を開催する。また細密工芸分野（特に煙草道具）としても大変貴重である「木下コレクション」をより広く知って頂くとともに、作品を良好な状態で保存し後世に継承してゆくことを目的とする。

４　体制

①主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市
②後援 掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

５　参考　添付データ

（１）主な展示作品
展示室１ 主に櫛かんざし、ほか帯留・懐紙入れ・花鎖・蒔絵小箱など 約 160 点
展示室２ 主に煙草入れ、ほか煙草盆・きせる・根付・前金具・きせる筒・料紙手箱・香炉など 約 150 点

作品リスト
【第１展示室】

蒔絵櫛 ７種	帯留（帯紐付き）15 種
蒔絵櫛・笄 10 種	帯留金具のみ 35 種
象牙・鼈甲櫛・笄 10 種	懐紙入れ ２種
細かんざし 30 種	花鎖 12 種
仕掛けかんざし 25 種	化粧小物入れ
びらびらかんざし 17 種	蒔絵小箱 ６種
玉かんざし 15 種	螺鈿嚢

【第２展示室】

煙草入れ（腰差し・一つ提げ・提げ・とんこつ） 総数 35 種	きせる 35 種 きせる筒 ６種
根付・金具類 約 50 種	たばこ盆 10 種
香炉 ８種	料紙手箱・硯箱 一揃

（2）会期中の普及啓発活動

チラシ表面（A4 5,000 枚）

（チラシ裏面）

（3）記録写真

① 2F エントランス後援表示

② 2F 展示室 全体

③ 2F 展示ケース作品

④ 1F 展示ケース作品

⑤ 1F 展示ケース作品

⑥ 1F 入口より奥側へ

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会２

近・現代絵画の魅力
～二人のコレクターが愛した洋画・日本画～

1　概要

当館が開館当初から所蔵する鈴木始一氏の日本画コレクションは、我が国の近代日本画の礎を築いた著名な作家らの作品で構成される。一方、近年、新たに掛川市に寄贈された鈴木政昭氏の洋画コレクションは、氏がステンドグラスとともに長年にわたり収集されたもので、主に戦後を中心に活躍した洋画家が多くを占めている。

本展覧会では、掛川市とゆかりのある両氏が愛したこだわりの作品を合わせて展示し、日本画と洋画、それぞれの作品がもつ魅力を紹介することを目的に開催した。

（1）会　期　　令和３年６月 11 日 (金) ～７月 25 日 (日)〔開館日数 43 日間〕
（2）会　場　　掛川市二の丸美術館（第１展示室・第２展示室）
（3）入館料　　高校生以上　200 円、中学生以下　無料
（4）入館状況

総入館者数	1,212 人
有料入館者	762 人
無料入館者	450 人
１日平均者数	28.2 人

2　経緯

掛川市は、昭和 54 年に実業家 故・鈴木始一氏から近代日本画 44 点の寄贈を受け、煙草道具を中心とする細密工芸品とともに当館の主軸コレクションをなしている。横山大観や竹内栖鳳など明治から昭和にかけて活躍した著名な画家の作品で構成され、開館当初より年に一度のペースで展覧会を開催してきた。平成 31 年には市内在住の医師 鈴木政昭氏より油彩画、版画 86 点を寄贈頂き、洋画を中心に新たなコレクションが加わり、両作品を紹介する展覧会として開催した。

3　目的

掛川市が所蔵するコレクションを多くの方に知っていただき、それぞれの作品が持つ魅力、作者の紹介などを通じて美術に親しむ機会を増やす。それとともに、所蔵する作品をよりよい状態で後世に継承することを目的に展覧会を開催する。

4　体制

①主催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市
②後援　掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

5　参考　添付データ

（1）展示作品

第１展示室／洋画　13 点

No	作品名	作 者	制作年	技法、形態
1	少女	藤井 勉	1990年代	油彩･キャンバス
2	婦人像	寺島 龍一	制作年不詳	油彩･キャンバス
3	人物（二人）	国領 経郎	制作年不詳	油彩･キャンバス
4	裸婦	伊藤 清永	制作年不詳	油彩･キャンバス
5	水浴（裸婦）	ジャン･ジャック･エンネル	19世紀後半	油彩･キャンバス
6	ガラス器と花	中谷 泰	制作年不詳	油彩･キャンバス
7	薔薇	萩谷 巌	1960年前後	油彩･キャンバス
8	私の村の酔っぱらい	鴨居 玲	1970年代	油彩･キャンバス
9	北国の春	小林 和作	制作年不詳	油彩･キャンバス
10	初夏の阿蘇山	田崎 広助	制作年不詳	油彩・キャンバス
11	シャンゼリゼー風景	織田 廣喜	制作年不詳	油彩・キャンバス
12	黎明	中畑 艸人	制作年不詳	油彩・キャンバス
13	海の旅人（帆船）	鈴木 政輝	制作年不詳	油彩・キャンバス

第２展示室／日本画　19 点

No	作品名	作 者	制作年	技法、形態
14	聖夜	川端 龍子	1941年	絹本墨画淡彩、軸装
15	海暾	横山 大観	制作年不詳	紙本着色、軸装
16	鵜飼	川合 玉堂	1933年頃	絹本着色、軸装
17	鏡獅子	伊東 深水	1940年頃	絹本着色、軸装
18	桜	前田 青邨	制作年不詳	絹本着色、軸装
19	宋三彩劃花壺	山村 耕花	1921年	絹本着色、軸装
20	初夏の花	結城 素明	制作年不詳	絹本着色金泥、軸装
21	罌粟	山村 耕花	制作年不詳	絹本着色、軸装
22	赤城路之巻	速水 御舟	1916年頃	紙本着色、額装
23	狩の雨	川端 龍子	制作年不詳	紙本着色、 額装
24	双鯉	堅山 南風	制作年不詳	紙本着色金泥、額装
25	金魚	奥村 土牛	1951年頃	紙本着色、額装
26	秋の実り	竹内 栖鳳	制作年不詳	絹本着色、額装
27	りんご	福田 平八郎	1955年頃	紙本着色、額装
28	カトレア	堅山 南風	制作年不詳	絹本着色、額装
29	洋壺	小倉 遊亀	1958年	紙本金地着色、額装
30	秋の山	小野 竹喬	1950年頃	絹本着色、額装
31	萠春	東山 魁夷	制作年不詳	絹本着色、額装
32	鳩	髙山 辰雄	1955年頃	絹本着色、額装
33	花鳥双六『少女の友』第10巻新年号付録		1917年1月	画/川端 龍子
34	雑誌『婦人世界』第7巻第7号		1912年6月	表紙、挿絵/川端 龍子
35	青龍社　第10回記念展覧会目録		1938年	
36	第33回青龍展出品目録		1961年	

（2）会期中の普及啓発活動

① チラシ（A4 8,000 枚）　　左 / 表面、右 / 裏面

②鑑賞ガイド

「近代日本画
コレクションⅢ」
奥村土牛、堅山南風、
川端龍子

「洋画
コレクション」
萩谷巌、伊藤清永、
鴨井玲、藤井

③ビデオガイド 「鈴木始一 近代日本画コレクション」(当館作成スライドショー)

④ギャラリートーク

6/23(水)　9 人　、7/3(土)　5 人（解説　当館学芸員）

⑤団体見学案内

6/14(月) 大坂小 3 年生 65 人

7/13(火)、14(水) 掛川第一小学校 126 人

（3）記録写真

① 美術館外観

② エントランス

③ 第 1 展示室（洋画）

④ 第 2 展示室（日本画）

⑤ 2F 通路

⑥ 団体見学の様子

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会３

第49回伝統工芸日本金工展

１　概要

（公財）日本工芸会金工部会が主体となり、日本全国の金工作家らの公募作品を厳選に審査し発表・展示するもので、今年度第 49 回目の展覧会となった。昨年度がコロナウイルスによる延期措置で、１年遅れの展覧会であった。毎年、公募作品のうち入選作品を全国の２会場で展示公開している。

そのうちの１会場目が掛川市二の丸美術館。展示作品は全 144 作品。入選作品の他、日本工芸会に属する作家の方々から重要無形文化財保持者にいたるまで多岐にわたる作品が展示された。

（１）会　期　　令和３年８月７日（土）～ 10 月８日（金）（開館日数 59 日間）
（２）会　場　　掛川市二の丸美術館（第一展示室・第二展示室）
（３）入館料　　一般　200 円、中学生以下　無料
（４）入館状況

総入館者数	1,508 人
有料入館者	974 人
無料入館者	534 人
１日平均者数	25.6 人

２　経緯

一昨年前より、日本工芸会から掛川市を通して展覧会の依頼を受けていた。

掛川市出身の大角幸枝先生（重要無形文化財保持者）との関連性もあり、掛川市でも開催の意向を示していた。本来ならば、令和２年度に開催予定であったが、コロナウイルスの拡大により令和３年度に延期、本展覧会に至る。

３　目的

（公財）日本工芸会金工部会では､日本でも長い歴史を持つ金属工芸（彫金･鍛金･鋳金･象嵌など）の技術の保存と発展を願い、またこれを広く一般の方々にも鑑賞して頂くことを目的として毎年公募展を開催している。展覧会は関東圏を中心に年２回開催している。

当館収蔵品にも金工作品が多数あり、また掛川は鍛金で重要無形文化財保持者の大角幸枝先生の出身地でもある。金属工芸の世界を多くの方に知って頂くだけでなく、掛川市、二の丸美術館、そして大角先生との関りを深める上でも貴重な機会であった。

４　体制

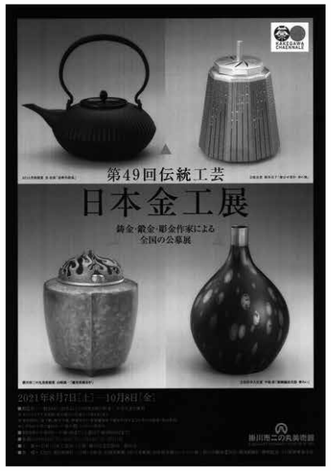
①主催　（公社）日本工芸会、（公財）掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）、掛川市
②後援　文化庁、朝日新聞社、（公財）宗桂会、石洞美術館、MOA 美術館

田中貴金属ジュエリー（株）、掛川市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

５　参考　添付データ

（１）主な展示作品
正会員 56 作品、準会員３作品、研究会員７作品、一般 50 作品
21+ プラス（30 歳以下の若手作家）28 作品　　全 144 作品

（２）販促物
①ポスター B2・チラシＡ４・ご招待ハガキ



チラシ表面

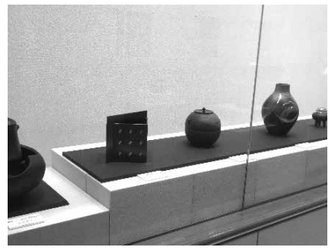
チラシ裏面

（３）記録写真

① ２F エントランス後援表示

② ２F 展示室フロアー

③ ２F 展示室ガラスケース内



④ １F　展示室全体

⑤ １F 大型ケース 帯留金具

⑥ １F　ガラスケースほか

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会４

MOA美術館コレクション
歌川広重 保永堂版 東海道五十三次展

１　概要

掛川市が主催するお茶とアートを融合させた芸術祭「かけがわ茶エンナーレ 2020 ＋ 1」タイアップ企画として、MOA 美術館が所蔵する貴重なコレクションより、歌川広重 (1797 ～ 1858) の浮世絵版版画「東海道五十三次」を主題とする展覧会を開催。

天保 4(1833) 年、浮世絵師 歌川広重により刊行された「東海道五十三次」は、江戸から京都を結ぶ東海道の宿場の景観や風俗を描き当時大変な人気を博した。本展覧会では、広重の代表作として有名な「保永堂版 東海道五十三次」より、静岡県内の 22 の宿場に有名な《日本橋》、《庄野》や《四日市》など各地の名所を織り交ぜて紹介。これに加え県内の宿場においては、その後に出版された「隷書版 東海道五十三次」を展示し、その違いも見比べられる構成とした。また当館所蔵の旅道具や道中記を作品と組み合わせ江戸の旅を紹介するとともに、作中の人物パネルや、日坂宿と有名な夜泣き石の実物大パネルの撮影コーナーを設けるなど、館内全体で作品の雰囲気づくりを行い、幅広い世代に興味を持ってもらえる展覧会となった。

（１）会　期　　令和３年 10 月 16 日 (土) ～ 11 月 14 日 (日)〔開館日数 29 日間〕
（２）会　場　　掛川市二の丸美術館（第１展示室・第２展示室）
（３）入館料　　高校生以上 200 円、中学生以下 無料
（４）入館状況

総入館者数	2,376 人
有料入館者	1,852 人
無料入館者	524 人
１日平均者数	81.9 人

（５）作品解説（解説 当館学芸員）
10/23(土) 午前・午後 計２回／サポーター対象 10 人
11/3(水) 午前・午後 計２回／見学者対象 25 人（※コロナ対応による事前申込制）

２　経緯

掛川市が主催するお茶とアートを融合させた芸術祭「かけがわ茶エンナーレ 2020 ＋ 1」と連携する展覧会として MOA 美術館の特別協力のもと開催。併せて、今年東海道シンポジウムが会期中に大日本報徳社を会場に開催されることから、一般の方にも馴染み深い歌川広重の浮世絵《東海道五十三次》を主題に開催した。

３　目的

掛川市は日坂と掛川の二つの宿場を擁しており地域の歴史に親しむ機会として、また MOA 美術館の有する彫り、摺りともに優れた浮世絵作品に触れる機会として開催。

４　体制

①主　　催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市
②特別協力　MOA 美術館
③後　　援　掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

５　参考　添付データ

（１）展示作品

第１展示室／東海道五十三次 保永堂版、隷書版《日本橋》から《江尻》まで 19 点

No	作品名	作 者	制作年	所 蔵
1	保永堂版 東海道五十三次之内 日本橋 朝之景	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
2	保永堂版 東海道五十三次之内 戸塚 元町別道	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
3	保永堂版 東海道五十三次之内 箱根 湖水圖	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
4	保永堂版 東海道五十三次之内 三島 朝霧	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
5	隷書版 東海道 十二 五十三次 三嶋	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA美術館
6	保永堂版 東海道五十三次之内 沼津 黄昏圖	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
7	隷書版 東海道 十三 五十三次 沼津	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA美術館
8	保永堂版 東海道五十三次之内 原 朝之富士	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
9	隷書版 東海道 十四 五十三次 原	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA美術館
10	保永堂版 東海道五十三次之内 吉原 左富士	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA 美術館
11	隷書版 東海道 十五 五十三次 吉原 名所左富士	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA 美術館
12	保永堂版 東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA 美術館
13	隷書版 東海道 十六 五十三次 蒲原 富士川渡舟	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA 美術館
14	保永堂版 東海道五十三次之内 由井 薩埵嶺	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA美術館
15	隷書版 東海道 十七 五十三次 由井	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA美術館
16	保永堂版 東海道五十三次之内 奥津 興津川	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA 美術館
17	隷書版 東海道 十八 五十三次 奥津 清見がせき 清見寺	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA 美術館
18	保永堂版 東海道五十三次之内 江尻 三保遠望	歌川 広重	天保4～5 （1833～34）年	MOA 美術館
19	隷書版 東海道 十九 五十三次 江尻	歌川 広重	嘉永年間 （1848～54）年	MOA 美術館

第２展示室／東海道五十三次 保永堂版、隷書版《府中》から《京師》まで 35 点
旅道具、道中記、浮世絵制作道具

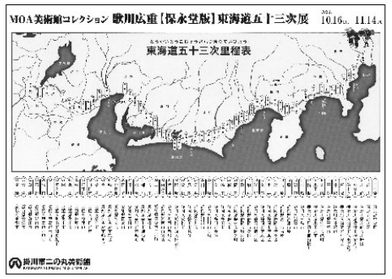
No	作品名	作 者	制作年	所 蔵
20	保永堂版 東海道五十三次之内 府中 安部川	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
21	隷書版 東海道 廿十 五十三次 府中	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
22	保永堂版 東海道五十三次之内 鞠子 名物茶店	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
23	隷書版 東海道 廿一 五十三次 鞠子	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
24	保永堂版 東海道五十三次之内 岡部 宇津之山	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
25	隷書版 東海道 廿二 五十三次 岡部 宇津の山	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
26	保永堂版 東海道五十三次之内 藤枝 人馬継立	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
27	隷書版 東海道 廿三 五十三次 藤枝	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館

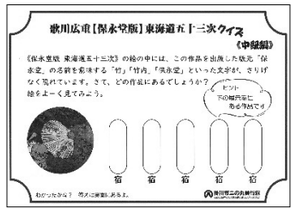
No	作品名	作 者	制作年	所 蔵
28	保永堂版 東海道五十三次之内 嶋田 大井川駿岸	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
29	隷書版 東海道 廿四 五十三次 嶋田 大井川	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
30	保永堂版 東海道五十三次之内 金谷 大井川遠岸	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
31	隷書版 五十三次 廿五 金谷 金谷坂 金谷駅 大井川	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
32	保永堂版 東海道五十三次之内 日坂 佐夜ノ中山	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
33	隷書版 東海道 廿六 五十三次 日阪 夜啼石 無間山 小夜の中山	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
34	保永堂版 東海道五十三次之内 掛川 秋葉山遠望	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
35	隷書版 東海道 廿七 五十三次 懸川 秋葉山別道	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
36	保永堂版 東海道五十三次之内 袋井 出茶屋ノ圖	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
37	隷書版 東海道 廿八 五十三次 袋井 名物遠州だこ	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA 美術館
38	保永堂版 東海道五十三次之内 見附 天竜川圖	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA 美術館
39	隷書版 東海道 廿九 五十三次 見附 天龍川渡舟	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA 美術館
40	保永堂版 東海道五十三次之内 濱松 冬枯ノ圖	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA 美術館
41	隷書版 東海道 三十 五十三次 は満奈	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
42	保永堂版 東海道五十三次之内 舞坂 今切真景	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
43	隷書版 東海道 卅一 五十三次 舞坂	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA 美術館
44	保永堂版 東海道五十三次之内 荒井 渡舟ノ圖	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA 美術館
45	隷書版 東海道 卅二 五十三次 荒井	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA 美術館
46	保永堂版 東海道五十三次之内 白須賀 汐見阪圖	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA 美術館
47	隷書版 東海道 卅三 五十三次 白須賀 汐見坂	歌川 広重	嘉永年間（1848～54）年	MOA美術館
48	保永堂版 東海道五十三次之内 御油 旅人留女	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
49	保永堂版 東海道五十三次之内 宮 熱田神事	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
50	保永堂版 東海道五十三次之内 四日市 三重川	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
51	保永堂版 東海道五十三次之内 庄野 白雨	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
52	保永堂版 東海道五十三次之内 亀山 雪晴	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
53	保永堂版 東海道五十三次之内 土山 春之雨	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
54	保永堂版 東海道五十三次之内 京師 三條大橋	歌川 広重	天保4～5（1833～34）年	MOA美術館
55	摺り工程 《保永堂版 東海道五十三次之内 掛川・秋葉山遠望》			当館
56	旅道具（提灯、携帯用旅枕、火打石、行李ほか）			当館
57	五海道中細見記	大城屋 良助	嘉永年間 （1848～54）年	当館
58	東海道名所図会（6 冊）	秋里 籬島	天保4～5 （1833～34）年	当館
59	版画制作道具（顔料、彫り道具、摺り道具）			（公財）アダチ伝統木版画技術保存財団所
60	映像資料「匠達の技」			（公財）アダチ伝統木版画技術保存財団所

（3）記録写真

① ポスター (B2/200 枚) チラシ（A4/10,000 枚）

② 配布資料「東海道五十三次里程表」(A4/1,500 枚)、クイズ 2 種類 (A5 各 300 枚)





（4）記録写真

① 美術館外観

② エントランス

③ ロビー

④ 第 1 展示室

⑤ 第 2 展示室

⑥ 作品解説

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会５

2021掛川市民アートフェスタ

掛川市民芸術祭 優秀作品展　牧野宗則木版画展

１　概要

毎年好評を得ている市民芸術祭の優秀作品展と美術館テーマ展示「牧野宗則木版画展」を開催した。当館収蔵品である牧野氏の作品は、美しい色彩のグラデーションや、醸し出される幻想的な雰囲気が大変魅力的であり、浮世絵版画とはまた異なる魅力を持つ。市内在住の方が多く来館されるこの期間に展示することは、市の財産でもある美術館の収蔵品を市民に広く知ってもらう良い機会だと言える。

第２展示室では、今年度掛川市民芸術祭に出品された絵画、彫刻・手工芸、写真、書道の計 114 点のうち、各部門の優秀作品 36 点を展示した。

ロビーでは「スケッチ画公募作品展示」も併せて展示しました。

(1) 会 期 令和３年 11 月 19 日 (金) ～ 12 月 19 日 (日)〔開館日数 29 日間〕

(2) 会 場 掛川市二の丸美術館（第１展示室・第２展示室）

(3) 入館料 無料

(4) 関連イベント

①牧野宗則講演会「私が木版画家になった理由わけ」

日時 令和３年 11 月 27 日 (土) 14:00 ～ 15:00

会場 大日本報徳社 大講堂・二の丸美術館展示室

参加人数 21 人 (市民芸術祭表彰式出席者 11 人含む)

※新型コロナウイルス感染予防のため人数を制限して開催

②作品解説 12/4 (土) 14:00 ～ 14:30 (担当 日比野・石田) 参加者２人

(5) 入館状況

総入館者数	4,437 人
１日平均者数	153 人

２　経緯

例年秋に「掛川市民芸術祭」の優秀作品の展示と、美術館テーマ展示をあわせて行っている。

市民の作品が多く展示されることから他の展覧会よりも多くの市民の来館が予想され、美術館を身近な施設だと感じてもらい、またどのような作品が美術館に収蔵されているのかを知ってもらうには最適な時だと考えられてきたからである。

３　目的

今年度の美術館テーマ展示は、「牧野宗則木版画展」を開催した。静岡市出身の木版画家・牧野宗則氏は、伝統的な浮世絵版画が絵師・彫師・摺師の分業制で行われるのに対し、すべての工程を自らが手掛けている。また作品は、自身が美しい自然に触れた時の深い情感を幾度もの版に彫り、摺りを重ねることで自然の生命が輝き、光と色彩がきらめき、生きる歓びに満ちている。当館では、1999 年と 2009 年に氏の展覧会を開催している。今回、規模は小さいが久しぶりに全収蔵品を展示することで、多くの来館者に氏の木版画の素晴らしさを伝え、再認識してもらう機会となることを期待した。

４　体制

① 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市

② 後援 掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

５　参考　添付データ

（１）主な展示作品

第１展示室（上階）牧野宗則木版画　15 点

	作品名	制作年	技法	寸法
1	雪山遊光	1981 年	木版画　8 版 13 度摺り	49.3 × 35.7
2	波上の月	1982 年	木版画　9 版 16 度摺り	34.8 × 50.0
3	やすらぎ	1985 年	木版画　4 版 7 度摺り	18.0 × 13.0
4	蒼い流れ	1987 年	木版画　8 版 13 度摺り	22.5 × 35.0
5	青い月	1987 年	木版画　10 版 13 度摺り	20.0 × 15.0
6	光彩	1987 年	木版画　6 版 11 度摺り	20.0 × 15.0
7	流れは広く	1998 年	木版画　9 版 13 度摺り	33.9 × 23.0
8	萩小袖	2000 年	木版画　9 版 16 度摺り	33.9 × 45.7
9	天空の花	2001 年	木版画　13 版 21 度摺り	34.8 × 49.7
10	清明	2001 年	木版画　24 版 28 度摺り	22.5 × 34.9
11	春色	2002 年	木版画　17 版 27 度摺り	34.6 × 49.7
12	慈愛	2004 年	木版画　14 版 26 度摺り	34.8 × 49.6
13	夢咲き森	2005 年	木版画　10 版 18 度摺り	34.8 × 49.8
14	いのちの花	2007 年	木版画　28 版 45 度摺り	34.7 × 49.8
15	まほろば	2008 年	木版画　16 版 34 度摺り	34.8 × 49.6

第２展示室（下階）掛川市民芸術祭　優秀作品　36 点

	No	賞	氏　名	作品名
彫刻・手工芸	【一般の部】			
	1	市長賞	宇賀神 みえ子	盛夏
	2	教育長賞	菊池 正成	女子プロゴルファー　オオスカ　イマメ
	3	文化協会長賞	髙塚 三千男	力神
	4	奨励賞	斎藤 一美	秋の夜長のティータイム(ビーズフラワー)
	【高校の部】			
	5	奨励賞	廣住 綾	Happiness
絵画	【一般の部】			
	6	市長賞	山内 早苗	初馬風景
	7	教育長賞	伊奈 卓己	顔?…顔･顔 !!
	8	文化協会長賞	松尾 美枝子	彩秋
	9	奨励賞	松下 一弘	奥浜名湖
	10	奨励賞	齋藤 彗心	古民家(掛川市/倉真)
	【高校の部】			
	11	市長賞	佐藤 りん	点描画
	12	教育長賞	岡本 樹弥	指のない人たち
	13	文化協会長賞	藤原 夕姫那	天上天下唯我独尊
	14	奨励賞	土屋 萌々香	愛好
	15	奨励賞	鷲見 亜寿香	海月
	16	奨励賞	林 伶衣子	清泉の主
	17	奨励賞	山﨑 舞耶	百獣の王

	No	賞	氏　名	作品名
写真	【一般の部】			
	18	市長賞	田辺 鉄朗	走れ
	19	教育長賞	三ツ井 道代	紅の川
	20	文化協会長賞	竹下 俊一	難破船と天の川
	21	奨励賞	後藤 正徳	雨中航海
	22	奨励賞	平岩 勝	3大余興
	23	奨励賞	安原 鈴子	御神木に見守られて
	【高校の部】			
	24	市長賞	藤田 修策	分身の術
	25	教育長賞	鈴木 舞羽	帰り道
	26	文化協会長賞	多々見　彩乃	最高の笑顔
	27	奨励賞	小林祐太	光
	28	奨励賞	増田 華	公園
書道	【一般の部】			
	29	市長賞	平賀 興紀	篆刻千字文
	30	教育長賞	江剌家 誠司	長寿福徳
	31	文化協会長賞	笠原 毬矢	心有りて
	【高校の部】			
	32	市長賞	稲垣 百恵	(創作)薛道衡「夏晩」
	33	教育長賞	赤堀 遥香	(創作)中島敦「山月記」
	34	文化協会長賞	武田 琉輝亜	(創作)「漁夫の利」
	35	奨励賞	須山 陽貴	臨書 欧陽詢九成宮醴泉銘
	36	奨励賞	森 歩	臨書 褚遂良 雁塔聖教序
	【参考出品】			
	37	書道･審査員	齊藤 将	ぱぺっと･ろぼっと
	38	書道･審査員	大谷 青嵐	磨墨飲酒心和陶詩
	39	書道･審査員	中村 明弘	秋の宵

（2）会期中の普及啓発活動

チラシ表面（A4 5,000 枚）チラシ裏面

（3）記録写真

① 2F エントランス後援表示

② 2F 展示室（全体）

③ 1F 展示室入口

④ 1F 展示室（全体）

⑤ 11/27 牧野宗則講演会

⑥ 12/4 作品解説

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会６

<木下コレクション>
春の工芸品セレクション －近世から近代まで－

１　概要

収蔵品「木下コレクション」より、“四季”をテーマにあらゆる工芸作品に表現された“自然のカタチ”を紹介した。自然のカタチとは、作品の中に描かれている文様や風景などが工芸作品とどのような関係性を持っているのか、またそれらが日々の生活のどんな場面で用いられているのかを探るものである。

作品は、蒔絵・彫金作品から煙草入れ等の細密金具まで、幅広いジャンルで展示した。今回はあらたな春を愛でる意味も込め、桜や梅など春の花の意匠を中心に紹介した。

また小さな帯留金具にクローズアップ。女性の装いの要となる帯留金具を春夏秋冬に区分して展示、その繊細な美しさを間近で見て頂いた。

上展示室には帯留や蒔絵の手箱など、女性らしい華やかな工芸作品を展示。下展示室には、男性の煙草入れや印籠のほか、煙草盆約 30 点を一堂に展示した。

両展示室で､約 150 点ほどの作品を展覧。日本人の美意識や繊細な技術を多彩な作品で紹介した。

（１）令和３年 12 月 25 日（土）～令和４年２月 13 日（日）
（２）会 場 掛川市二の丸美術館（第１展示室・第２展示室）
（３）入館料 一般 200 円、中学生以下 無料
（４）イベント
「作品解説＆根付に触れてみよう！」
日時：1 月 10 日（月・祝）解説：池田恵美子（学芸員）
①午前 11 時～ 11 時 30 分 3 名 ②午後 2 時～ 2 時 30 分 9名（計 12 名参加）
（５）入館状況
会期中入館者数

総入館者数	1,908 人
有料入館者	1,248 人
無料入館者	660 人
１日平均者数	41.5 人

２　経緯

故木下満男氏より、たばこ道具をはじめ、印籠、刀装具、金工品、細密工芸品など約 2,300 点と美術館建設資金の寄付を受けている。平成 10 年 4 月の開館時より、これらの工芸作品を公開する展覧会を毎年開催している。特に煙草道具を主とする工芸作品が充実している。

本展覧会では、長年受け継がれてきた日本の伝統技法や作品の魅力を伝えるため、様々な視点から鑑賞できるよう新しいアイディアや表現を取り入れて紹介した。

３　目的

開館 23 年目を迎え、成熟した美術館として、市民の創造的な文化芸術活動を支えるべく、地道な研究の成果と高度な専門知識に裏付けられた質の高い展覧会を開催する。また細密工芸分野（特に煙草道具）としても大変貴重である「木下コレクション」をより広く知って頂くとともに、作品を良好な状態で保存し後世に継承してゆくことを目的とした。

４　体制

①主催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市
②後援　掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

５　参考　添付データ

（１）主な展示作品
第１展示室　春夏秋冬順に、蒔絵と彫金・調度作品・帯留金具・煙草入れほか　約 60 点
第２展示室　春夏秋冬順に、煙草盆、煙草入れ・きせる・印籠など　約 150 点

作品リスト
第１展示室

蒔絵手箱　４種	芝山細工飾り花瓶（一対）　１種
蒔絵棚　１種	煙草入れ　１０種
金工飾壺・水盤・香炉　５種	帯留金具　１３種
提げ重箱　２種	帯留金具（帯締付き）　１１種
蒔絵煙草盆　２種	印籠　２種
蒔絵時代鏡（一式）　１種	

第２展示室

煙草盆　36 種	きせる　48 種・きせる筒　６種
煙草入れ　52 種	印籠　５種

（２）会期中の普及啓発活動

チラシ表面（A4　6,000 枚）

（チラシ裏面）

（３）記録写真

① 2F エントランス後援表示

② 2F 展示室（全体）

③ ２F 展示ケース作品

④ １F 展示ケース作品

⑤ １F 展示ケース作品

⑥ １F 展示ケース作品

②令和３年度 掛川市二の丸美術館展覧会７

掛川藩・横須賀藩
御用絵師と藩校教授　文化教養の原点

１　概要

江戸時代、掛川市には掛川藩・横須賀藩の二つの藩が存在した。掛川藩は、1746 年（延享 3）に太田資俊が入封以来、幕末まで七代 123 年にわたり太田家が藩主を務め、横須賀藩は、1682 年（天和 2）に西尾忠成が入封以来、八代 186 年にわたり西尾家が藩主を務めた。

本展では、太田侯・西尾侯が遺した貴重な歴史資料を紹介するとともに、藩主に仕えていた御用絵師（掛川藩・村松以弘、横須賀藩・大久保一丘）と藩校教授（掛川藩・松崎慊堂、横須賀藩・八木美穂）に焦点を当てた展示を行い、あわせて江戸後期に編纂された両藩の地誌（掛川誌稿、郷里雑記）を紹介した。

当時の両藩の様子を知るとともに、どのような人物によりどのような教育がなされていたかを知り、優れた文化教養に触れる機会となることを期待し本展を開催した。

（１）会　期　　令和４年２月 19 日 (土) ～ 3 月 31 日 (日)〔開館日数 38 日間〕

※令和３年～４年度またぎ

（２）会　場　　掛川市二の丸美術館（第１展示室・第２展示室）

（３）入館料　　一般　200 円、中学生以下　無料

（４）関連イベント

作品解説

	テーマ	担当	参加者数
2/26（土）	御用絵師と藩校教授	日比野 秀男（当館館長）	15 名
3/5（土）	横須賀藩学問所教授　八木美穂	石田 杏子（担当学芸員）	17 名
3/12（土）	掛川誌稿と郷里雑記	石田 杏子（担当学芸員）	12 名
3/26（土）	掛川藩校　校舎について	和田 厚氏 （元 常葉大学造形学部非常勤講師）	10 名

会場：二の丸美術館展示室

時間：14：00 ～ 14：30

（５）入館状況

①会期中入館者数

総入館者数	1,821 人
有料入館者数	1,336 人
無料入館者数	485 人
１日平均者数	47.9 人

3/31 まで (開館日数：38 日間)

2　経緯

近年の掛川三城や藩主に関連した展覧会を土台とし、本展では藩主に仕えた御用絵師 (村松以弘・大久保一丘) と藩校教授 (松崎慊堂・八木美穂) に焦点を当てた展示を行った。これまで開催した展覧会の調査をいかしつつ、新たな調査結果を加え、内容をより深化させたものとして開催。

3　目的

焦点を絞った展示とすることで、それぞれの人物はもちろんのこと、周辺人物にも触れ著作物、作品をより深く掘り下げることを目的とした。また、本展が今後同種の展覧会の開催へと繋がることを期待し開催した。

4　体制

④主催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市

⑤後援　掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

5　参考　添付データ

（1）主な展示作品

第 1 展示室　太田家、西尾家ゆかりの大名道具他、掛川誌稿 (4 種)、郷里雑記 (2 種) など 22 点

第 2 展示室　村松以弘、大久保一丘の絵画作品、松崎慊堂、八木美穂の書、掛川藩校関連資料など 32 点

作品リスト

第 1 展示室

No.	資料または作品名	作者	時代	所蔵	備考
藩主の美意識・教養					
1-1　掛川藩主・太田侯					
1	銀地鳳凰図象嵌鐙		江戸時代	当館	太田家伝来
2	松竹梅蒔絵鞍		江戸時代	当館	太田家伝来
3	大食籠（おおじきろう）		江戸時代	当館	太田家伝来
4	太田備後守資始の書	太田資始	江戸時代	当館	太田家伝来
5	太田備後守資言の書「翫」	太田資言	江戸時代	当館	太田家伝来
1-2　横須賀藩主・西尾侯					
6	亀図	西尾忠受	嘉永6年（1853）頃	当館	西尾家伝来
7	棗（なつめ）・お椀・筆箱		江戸時代	個人	
8	櫛台（化粧台）		江戸時代	個人	
9	銅製釣燈籠		元禄10年（1697）	天宮神社	森町指定文化財
10	天宮神社 棟札		元禄10年（1697）	天宮神社	静岡県指定文化財
1-3　藩領地誌の作成					
1-3-1　掛川藩・掛川誌稿					
11	掛川誌稿 山崎八峰・常磐旧蔵本	斎田茂先・山本忠英 （校閲石川依平、榛葉清陰他）	江戸時代	大日本報徳社	
12	掛川誌稿 松ヶ岡・山崎家旧蔵本	斎田茂先・山本忠英	江戸時代	掛川市	
13	掛川誌稿 松ヶ岡・山崎家旧蔵本	斎田茂先・山本忠英	江戸時代	掛川市	
14	掛川誌稿 岡田家旧蔵本	斎田茂先・山本忠英 （岡田良一郎筆写）	慶応4年（1868）	大日本報徳社	
1-3-2　横須賀藩・郷里雑記					
15	郷里雑記 八木美穂自筆本	八木美穂	江戸時代	個人	
16	郷里雑記 榛葉清陰写本	八木美穂	文久元年（1861）	大日本報徳社	
17	遠江鈔出	榛葉清陰	嘉永元年（1848）	個人	
1-4　遠江国・掛川城					
18	遠江国掛川城天守台石垣芝土手崩所絵図		嘉永4年（1851）	当館	
19	遠江国掛川城地震之節損所之覚図		安政2年（1855）	当館	掛川市指定文化財
20	掛川城御殿古図		嘉永7年（1854）	個人	掛川市指定文化財
21	遠江国十二郡千六十三村図		弘化3年（1846）	当館	

第2展示室

二つの藩の絵師と教授					
2-1 御用絵師 ー掛川藩・村松以弘 横須賀藩・大久保一丘					
22	唐美人図	村松以弘	江戸時代	常葉大学附属 常葉ギャラリー	
23	秋景山水図	村松以弘	江戸時代	常葉大学附属 常葉ギャラリー	
24	秋草図	村松以弘	江戸時代	常葉大学附属 常葉ギャラリー	
25	董法山水図	村松以弘	文化4年（1817）	当館	掛川市指定文化財
26	宇洞山眺望図	村松以弘筆 太田資始画題	江戸時代	個人	
27	（資料）伊豆沿海真景図フィルム及び解説書『伊豆沿海真景図』			掛川市	
28	四季花鳥図屏風	大久保一丘	江戸時代	掛川市	
29	真人図	大久保一丘	江戸時代	撰要寺	静岡県指定文化財
30	真人図	大久保一丘	江戸時代	個人	
31	真人図	大久保一丘	江戸時代	個人	
32	富士三保松原図 扁額	大久保一丘	江戸時代	個人	
33	富士三保松原図 扁額	大久保一丘	江戸時代	個人	
34	富士三保松原図 扁額	大久保一丘	江戸時代	個人	
35	萩に菟図 扁額	大久保一丘	江戸時代	個人	
36	恵比寿図	大久保一丘	江戸時代	個人	
2-2　藩校教授 ー掛川藩・松崎慊堂 横須賀藩・八木美穂ー					
37	旧松尾藩学制沿革概略	不詳	明治初期	当館	太田家伝来
38	慊堂先生臨素公千字文	松崎慊堂	天保2年（1831）	当館	太田家伝来
39	五倫口解	松崎慊堂	明治3年（1870）	当館	
40	瀑布白糸眞圖不二峰詩（対幅）	村松以弘・松崎慊堂	江戸時代	個人	
41	慊堂先生遺墨	松崎慊堂	明治22年（1889）版	個人	
42	葦牙増註	八木美穂	江戸時代	賀茂真淵記念館	写本
43	中林詠草	八木美穂	江戸時代	賀茂真淵記念館	写本
44	長歌私編	八木美穂	江戸時代	賀茂真淵記念館	写本

45	磯之松	八木美穂	江戸時代	大日本報徳社	自筆本
46	子弟訓		江戸時代	賀茂真淵記念館	
47	八木美穂和歌「朝霜」	八木美穂	江戸時代	佐都加文庫 (大東図書館)	
48	八木家印顆		江戸時代	賀茂真淵記念館	
49	八木家日記(9冊)		江戸時代	賀茂真淵記念館	
50	八木美穂書簡　石川依平あて	八木美穂	江戸時代	賀茂真淵記念館	
51	美穂･依平･真龍･龍麿書簡	八木美穂･石川依平 内山真龍･石塚龍麿	江戸時代	佐都加文庫 (大東図書館)	
52	美穂　短冊	八木美穂	江戸時代	翠亭文庫･佐都加 文庫(大東図書館)	
53	石川依平翁像	画:羽鳥春隆　賛:石川依平	江戸時代	佐都加文庫 (大東図書館)	
54	常盤雪行図 石川依平賛春隆画	画:羽鳥春隆　賛:石川依平	江戸時代	賀茂真淵記念館	

（４）会期中の普及啓発活動

① ポスター（B2/150 枚）

チラシ（A4/8,000 枚）裏面

②鑑賞ガイド（A5 三ツ折り 500 部）

（５）報道機関等の取材（掲載記事）

すろ～かる２月

静岡新聞
3 月 10 日 (木)

（６）記録写真

① 美術館外観

② エントランス後援表示

③ 第１展示室

④ 第２展示室

⑤ ２Ｆ廊下

⑥ 作品解説

③－1 スケッチ画公募・作品展

1　事業概要

美術館教育普及活動の一環として、「みんなの顔、二の丸美術館、掛川城、動物･花、好きな風景」を主題にスケッチ画を募集、全 415 点を展示。出品作品は審査を行い、小学生、中学生、一般の部で優秀賞、奨励賞、計 24 点を選出、会期中にロビーで表彰式を行った。

（1）公募期間 8 月 7 日 (土) ～ 9 月 12 日 (日)
応募点数 415 点（小学生 246 点、中学生 154 点、一般 15 点）

（2）作品審査
■ 一次審査 9 月 25 日（金）
審査員 山城 道也 氏（二紀会準会員・日本美術家連盟会員）
■ 二次審査 10 月 20 日（水）
審査員 伊藤 賢一 氏（資生堂アートハウス 館長）
青野 馨 氏（ミュージアムサポーター代表）
中山 善文 氏（掛川市文化・スポーツ振興課 課長）
日比野秀男（掛川市二の丸美術館 館長）

（3）受賞者

小学生の部

賞	学校名	学 年	氏 名	タイトル
優秀賞	掛川市立千浜小学校	1 年生	藤原 翔	好きな動物
	磐田市立東部小学校	2 年生	星野 梨空	ホタル
奨励賞	掛川市立西山口小学校	2 年生	青島 巨忠	校歌にでてくる「あわが岳」
	掛川市立城北小学校	4 年生	筑城 理彩	大好き‼夏の掛川城
	掛川市立第一小学校	2 年生	松下 愛菜	掛川城
	掛川市立千浜小学校	1 年生	藤原 僚	好きな動物
	掛川市立千浜小学校	5 年生	畠山 あい奏	夕やけのあじさい
	掛川市立横須賀小学校	1 年生	戸塚 大翔	さかなといるか

中学生の部

賞	学校名	学 年	氏 名	タイトル
優秀賞	掛川市立西中学校	1 年生	増田 明莉	観葉植物
	掛川市立桜ヶ丘中学校	3 年生	小野田 唯織	カバ
奨励賞	掛川市立西中学校	2 年生	青野 美咲	飼っている犬
	掛川市立北中学校	2 年生	今村 心優	ブルースターの花
	掛川市立大須賀中学校	2 年生	田中 希春	三熊野神社大祭

一般の部

賞			氏名	タイトル
優秀賞			西谷 成志	どくだみの花
奨励賞	常葉大学附属菊川高等学校	1 年生	林 良樹	顔

（4）作品展示　期間　11 月 19 日（金）～ 12 月 19 日（日）
会場　美術館 ロビー

（5）表 彰 式　日時　11 月 20 日（土）10 時、14 時（二部制）
会場　美術館ロビー

2　経緯

平成 22 年に美術館教育活動の一環として始まった本事業は、テーマに沿ったスケッチ画を募集し、応募者全員の作品を館内ロビーで展示している。優秀作品を表彰することで創作意欲の高まりと、展示を通じて地域に密着した親しみやすい展覧会として多くの方に美術館に足を運んでいただくことを目的とし毎年開催している。

3　目的

①絵画の初歩であるスケッチ画を募集し、市民に創作活動への参加を促す。
②応募いただいた作品を展示することで、出品者や家族等が美術館との繋がりをもち身近に感じてもらう。

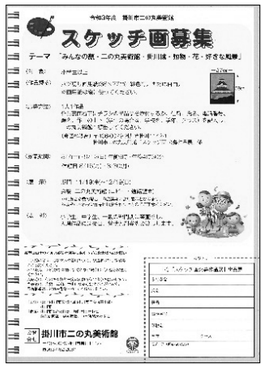
4　体制

①主催　（公財）掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）、掛川市
②後援　掛川市教育委員会、静岡朝日テレビ、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送

5　参考　添付データ

（1）普及啓発活動

①チラシ A4　表



②表彰式 次第 表 / 裏

（2）記録写真

① 展示風景１

② 展示風景２

③ 展示風景３

④ 展示風景４

⑤ 表彰式１

⑥ 表彰式２

③－2 写生大会

1　事業概要

掛川城公園内で、天守閣やステンドグラス美術館など、参加者が思い思いの対象を屋外で描く事業。参加者は、講師の山城道也先生から個別にアドバイス受けながら作品を完成させ、最後に講評を頂いた。

（1） 開催日時　10月31日（日）9:30～14:30 ※ 天候がすぐれなかったため、1時間短縮
（2） 会　　場　掛川城公園内
（3） 講　　師　山城 道也 先生 (二紀会準会員、日本美術家連盟会員)
（4） 参 加 料　一般 500円/中学生以下 200円（保険料含む）
（5） 参加人数　8名（一般 5名/中学生以下 3名）
※ 募集時に緊急事態宣言下であったため、定員を削減。

2　経緯

地域芸術の拠点となる美術館での教育普及活動として毎年行っている。講師から直接アドバイスを受けることにより、絵画に関する技術を高め、芸術文化への高揚を図る。

3　目的

①掛川城公園内で写生大会を開催し、絵画における技術を高める。
②掛川城公園周辺における文化施設の魅力を再発見していただく。

4　体制

①主催　（公財）掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）、掛川市
②後援　掛川市教育委員会

5　参考　添付データ

（1）チラシ A4

① 開会式

② 写生風景

③ 講師指導

④ 講評の様子

③－3 美術館講座
「掛川藩・横須賀藩 歴史文化のルーツをたどる」

1　事業概要

令和３年度二の丸美術館 展覧会「掛川藩・横須賀藩の文化教養の原点－御用絵師と藩校教授－村松以弘（いこう）・松崎慊堂（こうどう）・大久保一丘（いっきゅう）・八木美穂」の関連企画として、静岡県立島田商業高等学校長 松本稔章氏を講師にお招きし講演会を実施する。掛川藩・横須賀藩の御用絵師と藩校教授の作品を解説するとともに、掛川藩･横須賀藩の地誌「掛川誌稿」と「郷里雑記」を中心に地域で編纂された地誌を紹介することで、掛川の歴史・文化や二の丸美術館展覧会への関心を高めるための関連講座を開催した。

（1） 開催日時　令和4年3月19日(土) 開演13：30（開場13：00）終演15：30
（2） 会　　場　掛川市立中央図書館 会議室（掛川市掛川1148-1番地）
（3） 参 加 料　200円 全席自由 ※二の丸美術館観覧料含む ※未就学児入場不可
（4） 講　　師　松本 稔章 氏（静岡県立島田商業高等学校長）
　　日比野秀男 掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館館長
（5） 参加人数　60人

2　経緯

本展では掛川藩・横須賀藩の地誌を展示することから、両藩の地誌を中心に地誌成立の歴史的背景や県内の他の地誌についてご講演いただき、展示品のより深い理解の一助となることを期待し開催した。

3　目的

歴史文化ゾーンに所在する美術館として地域と連携し歴史文化遺産への関心を高めてもらうと共に、展覧会「掛川藩・横須賀藩の文化教養の原点－御用絵師と藩校教授－」の関連講座として、展示品をより深く学んでいただき美術館の利用促進につなげる。

4　体制

主催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市

5　参考　添付データ

（1）販促物

①チラシＡ４　（500枚）

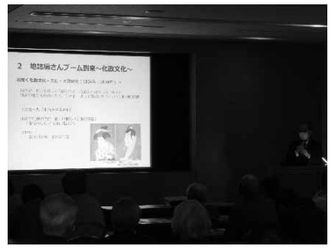
②文樂里２-３月号

（2）記録写真

① 開演前

② 第一部御用絵師と藩校教授

③ 第二部静岡県の地誌



③－4 キッズアートプロジェクトしずおか「夏休みステンドグラス体験講座」

1　事業概要

本講座は、夏休み期間を利用し小学生を対象にステンドグラス美術館の作品と同様の技法（絵付けによる古典技法）で実際にパネルの制作を体験していただく講座。制作技法を知ることで当時の卓越した職人技やガラス本来の美、その歴史を学び体感することでステンドグラスに興味を持ってもらうことを目的とする。
今年度はコロナウイルスの感染状況を考慮して、会場を小学校から竹の丸へ移し開催した。

（1）開催日時　　令和３年７月27日（火）
　　①午前の部　9：00 ～ 12：00
　　②午後の部　13：00 ～ 16：00
（2）会　　場　　掛川市竹の丸内ギャラリー
（3）講　　師　　志田政人（掛川市ステンドグラス美術館顧問）
　　草間幸子（掛川市ステンドグラス美術館副顧問）
　　布施英憲（アシスタント）
（4）参 加 費　　３時間コース　1,100 円
（5）参加人数

午前の部	12 人
午後の部	12 人
計	24 人

2　経緯

ステンドグラス体験講座は、2015 年のステンドグラス美術館開館時より基本構想のひとつであった。歴史あるステンドグラスを、またその原点でもある古典技法を多くの方に体験して頂けるよう、年間何回かに分けて企画してきた。令和３年度は体験講座を開催して７年目の開催となる。

3　目的

古典技法による本来のステンドグラス制作をより多くの方に体験して頂き、ステンドグラスの長い歴史とともに自身の作品を作ることの喜びや意義を感じて頂くのが目的。
またこの講座に参加することで、ステンドグラスに興味を持って頂き、ここ掛川でこのような体験ができることを、参加者に広く告知して頂ければさらなる発展が望める。

4　体制

主催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市ステンドグラス美術館）/ 掛川市
助成　キッズアートプロジェクトしずおか

5　参考　添付データ

（1）会期中の普及啓発活動

①チラシ

（2）記録写真

① 開始前、館内で本作品を見る

② 講師から、ガラスの描き方を学ぶ

③ ガラスに作品を描く

④ 作品のハンダ付けをする

⑤ 仕上がった作品を外光で見る

⑥ 仕上がった作品例 2品

④ ステンドグラス美術館　体験講座

一般講座・小学生講座・出前講座・ちょこっと体験講座・監修

1　事業概要

ステンドグラス技法の基礎ともいえる古典技法。その技法を、グリザイユによる絵付けから焼成・組立の工程で簡略化して体験できるのがこの体験講座である。ガラスもフランス製アンティークガラスを用いて、本格的なステンドグラス制作が体験できる。

夏休みステンドグラス体験講座・出前講座・一般講座・ちょこっと体験講座の４講座に分けて企画した。ほか、監修として、館内での解説補助･体験講座に際しての事前準備作業等も含まれる。

（１）一般講座（大人対象）

開催日時：令和４年１月15日（土）・16日（日）・17日（月）の３日間
午前コース　9：00～12：00（定員各12名）
午後コース 13：00～16：00（定員各12名）
会　　場：掛川市竹の丸ギャラリー
受 講 料：6,000円（材料費・受講料込み）
講　　師：志田政人・草間幸子・布施英憲
参加人数：25名
※絵付け・組立・焼成の本工程を３日間かけて行う体験講座。描くデザインは当館所蔵の作品の中から選んだ３種類。３種をすべて制覇したリピーターの方は、ステップアップしてあらたなデザインに臨む。

（２）小学生講座

開催日時：令和３年７月24日（土）・25日（日）・26日（月）の３日間
会　　場：掛川市竹の丸ギャラリー
受 講 料：１日コース（絵付けのみ）1,100円 ／ ２日コース（組立まで）2,200円
講　　師：志田政人・草間幸子・布施英憲
参加人数：総数49名
※小学３年生までは絵付けのみ、４年生以上は絵付け・組立両方の作業が可能。
双方とも、自身で描いたガラスパネルが仕上がる仕様。

（３）出前講座（掛川市内２校）

①掛川市立中小学校（特別支援学級）

開催日時：令和３年11月９日（火）午前９：00～12：00
会　　場：中小学校 特別支援教室
受 講 料：無料
講　　師：志田政人・草間幸子・布施英憲

参加人数：４名（小学５年・６年）ほか担当教師３名　　合計７名参加
※４枚の色ガラスを選択し絵付けをする。それらを焼成、焼きあがった後講師らが組立て仕上げる。
作品は、年末の「ひかりのオブジェ展」に出展した。

②掛川市立原田小学校（4年生・2回講座）

開催日時：１回目：令和３年12月　７日（火）午前10：00～11：40　絵付け
２回目：令和３年12月14日（火）午前10：00～11：40　組　立
会　　場：原田小学校 理科室
受 講 料：無料
講　　師：志田政人・草間幸子・布施英憲
参加人数：９名（小学４年）ほか担当教師１名　　合計10名
※１回目に絵付け作業、焼成後の２回目に組立てて仕上げる２週にわたる体験講座。原田小学校では本年で３回目となる企画である。

（４）ちょこっと体験（年３回）

開催日時：令和３年10月23日（土）　午前11時・午後２時
10月24日（日）　午前11時・午後２時
令和３年12月18日（土）　午前11時・午後２時
19日（日）　午前11時・午後２時
令和４年　３月12日（土）　午前11時・午後２時
13日（日）　午前11時・午後２時
会　　場：ステンドグラス美術館　西側バラ窓下
受 講 料：無料
講　　師：草間幸子
参加人数：132名

（１）～（３）の講座は、約10cm四方のガラスパネルが仕上がる仕様である。
（４）の講座は、館内での絵付け体験ができる簡単講座である。（持参不可、描くのみ）

（５）監　修

・来館者の質問に対する返答対応、または職員からの質問や企画等に関して対処検討
・体験講座の事前準備（ガラス切り・図面製図・レイアウト・タイムスケジュール作成・購入品調達等）
・体験講座企画に関すること

２　経緯

ステンドグラス体験講座は、２０１５年のステンドグラス美術館開館時より基本構想のひとつであった。光の芸術品ステンドグラスを見るだけでなく、その歴史や技法も含めて体感してもらうことに意義を見出してきた。当初は大人向けの一般講座のみであったが、小学生をはじめとする子供たちにも体験してもらうことを期待して、夏休みの小学生講座と出前講座の２企画も行っている。

３　目的

古典技法によるステンドグラス制作をより多くの方に体験して頂き、ステンドグラスの長い歴史とともに自身の作品を作ることの喜びや意義を感じて頂くことが目的である。特に未来を担う子供たちにも、このような体験ができること、将来的にステンドグラスに興味を持って頂く機会としたい。

また、掛川市でステンドグラスの体験ができることの告知や美術館来館者の誘客につながる講座としたい。

４　体制

①主催　公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市

②後援　掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

５　参考データ

（１）販促物　チラシＡ４

▲夏休みステンドグラス講座
チラシ（掛川市内小学校全校配布）

▲一般講座チラシ
（日時変更に付き、実施は R4.1）

（2）記録写真

夏休みステンドグラス体験講座

中小出前講座

原田小出前講座

一般講座

ちょこっと体験講座

⑤ 調 査 研 究

1 館蔵資料保存・整理の状況

（1）資料の収集

令和３年度末までに収集した資料は、3,488 点にのぼる。

二の丸美術館では、美術資料とともに歴史資料の収集も行っており、所蔵資料の範囲は多岐にわたる。

資料の一層の充実をめざして、今後とも継続・計画的な資料　収集を行う。

（2）資料の範囲・方針

収集に当たっての基本的方針は次のとおりである。

- ◯　掛川市出身作家および掛川市ゆかりの作品
- ◯　たばこ及びたばこ道具、細密工芸品に関する資料、作品
- ◯　掛川城・高天神城・横須賀城に関する資料
- ◯　掛川宿、日坂宿に関する資料
- ◯　その他

資料の収集方法は、寄贈の受け入れ、購入、寄託の受け入れなどである。

（3）資料の管理

展示や研究などの美術館活動の基本となる資料は、市民の財産として永く後世に伝えなければならないが、一方では常に活用できるような状態にしておくことも必要である。

（4）資料の保存

年間を通じて温湿度を一定に保った収蔵庫を２ヶ所設置し、一方では絵画を、もう一方では工芸品を収納し、それぞれの材質に適した空調を行っている。

光や温湿度の変化に注意を要する資料は、収蔵庫から出す期間をできるだけ短くし、外部環境からの影響をできるだけ小さくするようにしている。また､害虫やカビの発生を防止するため、毎年収蔵庫の燻蒸を行っている。

（5）資料の修復

収蔵資料で汚損や劣化が激しいものは、専門家による修復を行っている。

（6）資料の分布

収蔵品の中核となる木下コレクションは、総数 2,300 点余りと膨大な量で、内容もたばこ道具、刀装具、櫛、笄、印籠など多岐にわたり、現在も整理を行っている。

コレクションのうち、約 800 点がたばこ入れであるが、たばこ入れは染色・漆芸・金工・皮革など様々な技法を用いているので新たな分類方法が必要となった。そのため独自の分類方法を試みている。

2 資料貸出・利用

No.	資料名	作者	用途	利用期間	貸出先	展覧会名等
1	鉄地金銀象嵌人物図大飾皿	京都駒井	貸出	8/12(木)～R.4/1/21(金)	東京国立近代美術館 国立工芸館	「《十二の鷹》と明治の工芸」展示。〔10月9日(土)～12月12日(日)〕
2	赤銅牡丹文瓶掛	桂 光春	貸出			
3	銅製蛸図高彫花瓶	塚田秀鏡	貸出			
4	過眼掌記	椿 椿山	閲覧	R.4/1/29(土)	板橋区立美術館	
5	大庭松風家旅客揮毫		閲覧	R4/2/26	個人	

3 新収蔵品資料

No	資料名／作者	数	制作年	形態等	寸法（cm）	備考
1	花鳥双六 (『少女の友』第10巻新年号付録/実業之日本社発行)	1	1917(大正6)年1月	絹本着色	54.7×79.0	購入
2	『婦人世界』 (第7巻第7号/実業之日本社発行)	1	1912(明治45)年6月	紙本着彩	22.0×15.0	購入
3	『青龍社 第10回記念展覧会目録』	1	1938(昭和13)年	絹本金地着色	25.7×18.7	購入
4	『第33回青龍展出品目録』	1	1961(昭和36)年	絹本墨画	36.3×25.8	購入
5	《柳に双鳥図》山下 青厓	1	1925(大正14)年	絹本着色	128.3×41.0	寄贈
6	《百合図》渡辺 小華	1	明治時代	紙本着彩	105.5×30.0	寄贈
7	《燕子花図》渡辺 小華	1	不明	絹本金地着色	108.8×30.0	寄贈
8	《雪裏南天双雀図》 渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本墨画	142.0×50.0	寄贈
9	《枯木群鳩之図》椿 椿山	1	1853(嘉永6)年　癸丑	絹本着色	105.5×30.0	寄贈
10	《虫の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	紙本着彩	26.7×24.6	寄贈
11	《牡丹の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本金地着色	26.5×24.5	寄贈
12	《冬の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本墨画	26.2×24.5	寄贈
13	《豆の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本着色	26.5×24.5	寄贈
14	《菊花の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	紙本着彩	26.0×24.5	寄贈
15	《葡萄の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本金地着色	26.5×24.5	寄贈
16	《蓮の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本墨画	26.5×24.7	寄贈
17	《蘭(秋)の図》渡辺 小華	1	1874(明治7)年　甲戌	絹本着色	26.0×24.2	寄贈
18	《老人と子供と鶴図》 山本 琴谷	1	1867(慶応3)年	紙本着彩	133.8×54.3	寄贈
19	《双雀の像》作者不明	1	不明	絹本金地着色	高さ12.0×幅10.5×奥行8.0	寄贈
20	《丸盆》 一后一兆/二代 井波喜六斎/竹園自耕/天野策地/前大峰/勝田静璋/西塚朝光	七面一組	昭和 中～後期	絹本墨画	直径23.8	寄贈

4　資料修復

No	資料名／作者	数	制作年	形態等	修復内容
1	《秋の夕》川合 改次郎	1	不明	油彩 キャンバス	･黄袋付き指し箱作成 ･額アクリルセット
2	《夕陽》川合 改次郎	1	1936（昭和11）年	油彩･板	･黄袋付き指し箱作成 ･額アクリルセット
3	菅公童子立像 二代豊川光長	1	1923（大正12）年	銀、銅、白金、金	･袖裏等の緑青除去 ･左手の銀の酸化クリーニング ･収納箱の修繕
4	《鉄地金銀象嵌大飾皿》京都駒井 製	1	江戸後期	鉄、金、銀、赤銅	緑青の除去
5	《赤銅地牡丹文瓶掛け》桂 光春	1	明治時代	赤銅、銀、金	本体部分の汚れクリーニング
6	《銅製蛸図高彫り花瓶》塚田秀鏡	1	江戸後期	銅、銀、金	収納箱保護のための桐箱制作
7	《源平合戦図屏風》作者不明	1	江戸時代後期 （18世紀半ば頃）	紙本着色 六曲一双	蝶番部分の糊差し（応急処置）
8	《百人一首色紙貼交屏風》近衛基熙 他	1	江戸時代 （1700年前後か）	紙本墨書 六曲一双	屏風新調、本紙欠損部補紙
9	帯留《百合に撫子》	1	明治時代	銀･金･四分一	
10	帯留《桜花尽くし》	1	明治時代	銀･金（鍍金）･ 素銅	
11	帯留《四君子》	1	明治時代	銀･金（鍍金）･ 銅	
12	帯留《乱菊》	1	明治時代	銀･金（鍍金）･ 銅	
13	帯留《百合》	1	大正時代	銀･金（鍍金）･ 赤銅	
14	帯留《菊に籠》	1	大正時代	銀･赤銅･四分一	
15	帯留《乱菊》	1	明治時代	銀･金（鍍金）	酸化くすみ汚れ等のクリーニング
16	帯留《丸龍》	1	明治時代	銀･金（鍍金）	
17	帯留《流水に鯉》	1	明治時代	銀･金（鍍金）･ 珊瑚	
18	帯留《唐獅子》	1	江戸後期	銀	
19	帯留《双鮎》	1	江戸後期	銀･金･銅四分一	
20	帯留《鮎》	1	江戸後期	銀･金･赤銅･ 四分一	
21	帯留《鮎》	1	江戸後期	銀･金（鍍金）･ 赤銅	

5　印刷物作成状況

名　称	規　格	数　量
＜木下コレクション＞ 職人がこだわり抜いた細密工芸の世界	チラシ	5,000 枚
近・現代絵画の魅力 ～二人のコレクターが愛した洋画・日本画～	チラシ	8,000 枚
	鑑賞ガイド	●枚
第 49 回伝統工芸　日本金工展	チラシ	●枚
	ポスター	●枚
	ご招待ハガキ	●枚
MOA 美術館コレクション 歌川広重　保永堂版 東海道五十三次展	チラシ	10,000 枚
	ポスター	200 枚
	東海道五十三次程表	1,500 枚
	クイズ（2 種）	各 300 枚
2021 掛川市民アートフェスタ 掛川市民芸術祭 優秀作品展　牧野宗則木版画展	チラシ	5,000 枚
＜木下コレクション＞ 春の工芸品セレクション －近世から近代まで－	チラシ	6,000 枚
掛川藩・横須賀藩 御用絵師と藩校教授 文化教養の原点	チラシ	8,000 枚
	ポスター	150 枚
	鑑賞ガイド	500 枚
年間スケジュール	Ａ４三つ折り	7,000 枚

⑥ 管 理 運 営

1 入館者数統計

(1) 年度別入館者数

①二の丸美術館

年度	開館日数	有料入館者数											無料入館者数		計	1日平均
		美術館のみ		美術館・掛川城セット			美術館・ステンドセット		美術館・掛川城・ステンドセット		周遊券		大人	小人		
		大人	小人	大人	小人	団体	大人	団体	大人	団体	大人	団体				
H10	276	8,039	480	26,820	2,194	—	—	—	—	—	—	—	12,978	2,319	52,830	191
11	270	6,752	281	24,342	1,612	—	—	—	—	—	—	—	2,887	1,052	36,926	137
12	273	6,473	159	22,125	1,500	—	—	—	—	—	—	—	3,467	1,451	35,175	129
13	275	5,110	98	22,395	1,483	—	—	—	—	—	—	—	2,994	1,302	33,382	121
14	277	5,266	107	19,846	1,477	—	—	—	—	—	—	—	7,103	1,456	35,255	127
15	273	4,553	110	21,520	1,405	—	—	—	—	—	—	—	5,953	1,512	35,053	128
16	268	3,967	462	20,926	1,684	—	—	—	—	—	—	—	9,496	2,921	39,456	147
17	280	4,611	79	35,706	1,553	—	—	—	—	—	—	—	17,888	4,237	64,074	229
18	304	5,864	145	81,054	2,739	—	—	—	—	—	—	—	19,092	3,762	112,656	371
19	270	3,428	101	20,368	1,208	—	—	—	—	—	—	—	13,502	3,093	41,700	154
20	269	5,798	104	23,275	1,572	—	—	—	—	—	—	—	5,140	1,181	37,070	138
21	267	4,597	107	20,743	1,176	—	—	—	—	—	—	—	5,437	1,332	33,392	125
22	268	3,105	82	17,596	617	—	—	—	—	—	—	—	5,294	2,313	29,007	108
23	268	2,703	82	19,084	1,526	—	—	—	—	—	—	—	4,163	1,183	28,741	107
24	276	2,538	52	17,160	1,324	—	—	—	—	—	—	—	4,740	1,062	26,876	97
25	273	2,711	68	13,720	727	—	—	—	—	—	—	—	4,261	1,639	23,126	85
26	272	2,602	35	7,408	467	—	—	—	—	—	—	—	4,068	1,277	15,857	58
27	270	4,112	—	3,871	—	883	2,479	208	2,641	574	—	—	5,511	3,231	23,510	87
28	289	5,431	—	2,775	—	545	1,182	515	2,237	794	—	—	4,766	3,467	21,712	75
29	285	8,906	—	3,976	—	755	794	428	2,795	850	18	0	5,445	4,282	28,249	99
30	307	6,892	—	3,689	—	825	710	388	2,267	1,284	370	252	6,022	5,070	27,769	90
R1	283	6,063	—	2,292	—	509	570	254	1,950	708	550	170	6,495	4,361	23,922	85
2	256	7,891	—	394	—	172	335	142	432	177	72	31	4,271	2,501	16,418	64
3	304															
累計	6,351															

②ステンドグラス美術館

月	開館日数	有料入館者数									無料入館者数		計	1日平均
		美術館のみ	美術館・掛川城セット		美術館・ステンドセット		美術館・掛川城・ステンドセット		周遊券		大人	小人		
		大人	大人	団体	大人	団体	大人	団体	大人	団体				
H27	258	28,662	4,751	1,630	2,537	260	2,677	588	—	—	4,858	6,247	52,210	202
28	323	15,809	3,498	1,280	1,187	520	2,216	766	—	—	3,121	5,419	33,816	104
29	314	10,791	3,417	1,259	767	428	2,807	846	18	0	4,155	5,517	30,005	96
30	359	10,306	3,355	1,134	700	392	2,280	1,288	370	252	2,393	4,917	27,387	76
R1	326	8,607	2,519	1,015	567	254	1,951	718	550	170	2,424	3,919	22,694	70
2	285	8,008	459	206	322	142	434	179	72	31	972	2,681	13,506	47
3	339													
累計	2,205													

(2) 令和３年度月別入館者数

①二の丸美術館

年度	開館日数	有料入館者数									無料入館者数		計	1日平均
		美術館のみ	美術館・掛川城セット		美術館・ステンドセット		美術館・掛川城・ステンドセット		周遊券		大人	小人		
		大人	大人	団体	大人	団体	大人	団体	大人	団体				
4月	24										63	113	727	0
5月	28										96	269	1,148	0
6月	27										84	142	663	25
7月	24										65	211	716	30
8月	23										120	164	737	32
9月	28										80	71	504	18
10月	23										238	168	1,548	67
11月	25										1,790	535	3,536	141
12月	23										1,718	361	2,342	102
1月	28										118	352	1,250	45
2月	22										100	106	714	32
3月	29										160	226	1,419	49
合計	304										4,632	2,718	15,304	50

②ステンドグラス美術館

月	開館日数	有料入館者数									無料入館者数		計	1日平均
		美術館のみ	美術館・掛川城セット		美術館・ステンドセット		美術館・掛川城・ステンドセット		周遊券		大人	小人		
		大人	大人	団体	大人	団体	大人	団体	大人	団体				
4月	28										69	164	1,045	0
5月	29										99	343	1,457	0
6月	28										67	175	892	32
7月	29										146	370	1,281	44
8月	29										112	360	1,421	49
9月	28										49	173	735	26
10月	29										105	247	1,343	46
11月	28										132	347	1,817	65
12月	28										105	200	1,204	43
1月	28										169	505	1,654	59
2月	26										83	161	974	37
3月	29										153	387	2,203	76
計	339										1,289	3,432	16,026	47

（3）二の丸美術館展覧会 会期別入館者数

展覧会名			細密工芸の世界	近･現代絵画の魅力	日本金工展	東海道五十三次展	市民芸術祭牧野宗則木版画展	春の工芸品セレクション	文化教養の原点	令和3年度計
開催期間			4/6～6/6	6/11～7/25	8/7～10/8	10/16～11/14	11/19～12/19	12/25～2/13	2/19～3/31	
開催日数			58	43	59	29	29	46	38	302
有料	個人	美術館のみ								
		美割								
		美術館･掛川城								
		美術館･ステンド(OKワーク)								
		美術館･掛川城･ステンドグラス								
		周遊券								
	個人計									
	団体	美術館(市町村含む)								
		美術館･掛川城								
		美術館･ステンド								
		美術館･掛川城･ステンドグラス								
		周遊券								
		まる得パスポート								
		親子鑑賞券								
		じゃらん								
	団体計									
	有料計									
無料	一般無料入館者									
	中学生以下									
	減免(引率者等)									
	減免(身障者)									
	招 待 状									
	無料計									
合計			2,042	1,212	1,508	2,376	4,437	1,908	1,821	15,304
1日平均			35	28	26	82	153	41	48	51
入館券売上(円)										

（4）ステンドグラス美術館 体験講座（掛川市受託事業）参加者数

講座名	会場	大人	中学生	小学生	計	回数
計						
計						
合計						

2　組織・決算

（1）機　構（令和４年３月 31 日現在）

館長（非常勤職員）
└ 副館長
　└ 主幹
　　├ 学芸員３人（非常勤職員１人含む）
　　├ 常勤事務職員１人
　　└ 非常勤事務職員５人

（2）美術館協議会委員　任期２年　　令和３年４月１日～令和５年３月 31 日

氏　名	職　業　等
堀澤光栄	前姫路市書写の里・美術工芸館館長
伊藤賢一朗	資生堂アートハウス館長
海野俊也	（株）静岡新聞社・静岡放送 (株) 浜松総局長
太田和良	掛川市文化協会副会長
城下俊介	掛川市立城東中学校校長
日沢真紀	大須賀第一地区まちづくり協議会事務局
粂田京子	静岡県書道連盟
石津たつ子	掛川の現代美術研究会役員

（2）　令和３年度決算

●市決算

収入　（単位：千円）

区　分	金　額
美術館管理運営費雑入	404
計	404

支出　（単位：千円）

区　分	金　額
美術館協議会委員報酬	0
美術館協議会運営費	0
美術館管理運営費	92,413
計	92,413

●二の丸美術館決算

収入　（単位：千円）

区　分	金　額
指定管理料	
入館料	
物販手数料	
講座受講料	
助成金	
計	

※助成金　持続化給付金、雇用調整金、県博物館助成

支出　（単位：千円）

区　分	金　額
人件費	
管理費	
事務費	
講座等	
展覧会	
計	

●ステンドグラス美術館決算

収入　（単位：千円）

区　分	金　額
指定管理料	
入館料	
物販手数料	
講座受講料	
助成金	
計	

支出　（単位：千円）

区　分	金　額
人件費	
管理費	
事務費	
計	

３　令和３年度 美術館協議会

【第１回】　書面決議

【議題】

①二の丸美術館・ステンドグラス美術館に関する令和３年度運営管理状況について

②コロナ禍の対応について

③特色ある取り組み・新たな取り組みについて

【第２回】　書面決議

【議題】

①令和３年度事業実績について

②令和４年度事業について

③今後のコロナ禍での両美術館の管理・運営方針について